

生活状況をお知らせください

入園時に、家庭環境調査票（病気の記録・生活状況等）、緊急連絡帳を記入していただきます。記入もれのないように、期日までに提出してください。

アレルギー、肘が抜けやすいなど、個別配慮が必要な場合には、保育園にお知らせください。
医師の診断に基づき、保育園での対応を考慮していきます。

- ① 家の事情が変わったときは、すぐに連絡してください。
 - ◇ 住所、勤務先、電話番号、勤務時間の変更
 - ◇ 家族や家の事情が変わったとき
- ② 病気、その他で休むときは必ず届出ましょう。特に感染症のときは一刻も早くご連絡を！
- ③ 前夜熱が出たり、下痢をしたとき、その他異状があった時は登園のとき必ず連絡しましょう。
- ④ 園からのお便りは、よく見て連絡を密にし、返事のいるものは期日を守りましょう。
- ⑤ 電話連絡は9時00分までに連絡しましょう。（急な場合は除く）
- ⑥ 保護者の集まりには、必ず出席しましょう。

送り、迎え

- ① 喜んで登園させることを心がけましょう。
- ② 園にはおもちゃ、お菓子、金銭などは持たせないようにしてください。おもちゃ類は、紛失などのトラブルになることも少なくありません。また、カバンに小さなキーホルダー類をつけることもおやめください。落下したとき、小さな子どもたちが誤飲する危険性があります。
- ③ 登園、降園は、決めた時間を守りましょう。保育活動を考慮し、登園は8時50分が目安です。送り迎えの時間が変わるときは連絡してください。
- ④ 迎えの人が臨時に変わるときは、その都度、園に連絡しましょう。
- ⑤ 交通規則はまず大人から守りましょう。
- ⑥ 都合で退園する場合は、1週間前までに保育園にご連絡ください。届出用紙があります。

心がけたいこと

子どもは、保護者の皆さんの何気ない毎日の生活の仕方、考え方で育ちます。しつけは、言って聞かせるものではなく、言って聞かせるほど子どもは単純ではありません。親がしてみせて、それをまねて、大きくなっていくものです。

「健康で明るく、思いやりのある自主的な子ども」をめざし、手や口を出しすぎず、褒めるときは大げさに、叱るときはあっさりと、おおらかに育てましょう。

お父さん、お母さんがお休みのときや時間がとれるときは、子どもと過ごす時間をとって、触れ合ってあげましょう。